

令和4年度東北北海道支部研究発表会 開催報告

秋深まりつつ米沢・伝国の杜ホールを会場に、11月10日(木)・11日(金)の会期で令和4年度東北北海道支部研究発表会が開催されました。東北北海道支部の研究発表会は、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、実に3年ぶりの現地開催となりました。

企画の段階では研究発表会の時期の感染拡大状況が全く読めず、また、参加者がどの程度集まるのかといった不安を抱えながらの現地開催ではありましたが、特別講演1件、口頭発表22件、ポスター発表29件、参加者113名(会員:29名、学生:83名、特別講演講師:1名)と、ほぼコロナ以前の規模で開催することができました。天候にも恵まれ、実行委員長・山本修 山形大学教授はじめ実行委員会一同、胸をなでおろすとともに、これもひとえに発表、参加の皆様のおかげと感謝しております。

会場となった伝国の杜ホールは米沢城跡の敷地内に建ち、建物内に博物館も併設され、上杉家ゆかりの歴史的展示物が陳列されています。戦国時代ファンにとって「上杉」と言えば「越後の龍・上杉謙信」ですが、上杉はその後、会津120万石を経て、関ヶ原の合戦以降に30万石の米沢に移封されてきました。そして、この地で明治維新を迎えたため、ここ米沢には「上杉の城下町」という意識が根付いています。伝国の杜ホールの隣の敷地(米沢城二の丸跡)には、明治維新後に伯爵を叙せられた第十三代当主上杉茂憲伯爵邸が現存し(焼失により大正8年に再建)、現在は料亭として活用されています。

そんな米沢を舞台に、一日目午後から二日目午前中にかけて、電気・電子材料から光学材料、生体・医療材料、環境浄化材料に至る幅広い分野での研究発表がありました。久々の

現地開催だったこともあり、以前にも増して熱い議論が交わされ、また、発表者の顔にも聴講者の前で発表できる喜びが満ちあふれていました。情勢を鑑み大々的な懇親会は企画されませんでした。参加の皆様は、感染拡大防止に充分配慮しながら、各々、米どころ・米沢の夜を楽しまれたようです。

一日目最後に執り行われた特別講演では、「有機-無機二次元分子複合体の創製と機能」をテーマに、山形大学名誉教授・多賀谷英幸先生が、ライフワークとして取り組まれた有機-無機複合層状化合物に関してお話しくださいました。

最後に、学生優秀発表賞を受賞された皆様、おめでとうございます! 栄誉を称え、紙面を借りて紹介いたします。(敬称略) 牧 紘太郎(北大)、大野 拓人(山形大)、山中 俊輝(東北大)、吉村 充生(北大)、本澤 柊人(東北大)、Khokan Rashef Mohammad(北見工大)、中森 省吾(長岡技科大)、早坂 龍星(山形大)、川本 弘樹(東北大)、佐藤 紀帆(山形大)、楊 卉(北大)、下田 陽南(秋田大)



(写真) 学生優秀発表賞を受賞された皆様と鶴沼英郎支部長。授賞式を欠席された方には、後日賞状と副賞を郵送いたしました。



令和5年度の東北北海道支部研究発表会は弘前市で開催される予定です。

(執筆 実行委員会 山形大学 松嶋雄太)

20th Asian BioCeramics Symposium (ABC2022) 開催報告

2022年12月11日(日)~13日(火)に、20th Asian BioCeramics Symposium (ABC2022)が、袋布昌幹先生(富山高等専門学校)を大会長として富山国際会議場で開催されました。

ABCは生体関連セラミックスを主題とした国際会議であり、2001年の第1回以降、アジア・オセアニアの各地域で毎年開催されてきました。2019年に第19回が台湾で行われて以降、コロナ禍で延期が続きましたが、このたび3年ぶりに富山で開催される運びとなりました。

ABC2022ではハイブリッド形式により、Keynote Lecture 1件、Invited Lecture 5件、Oral 15件、Poster 20件が発表され、ほぼ半数の21件が学生による発表でした。その中には、日本に在学中のアジア圏の留学生や、海外留学中の日本人学生による発表もありました。

Keynote Lectureでは、次回ABC大会長のPham Trung Kien先生(ホーチミン市工科大)より、リン酸カルシウム系バイオマテリアル等における研究の足跡や、ホーチミン市工科大における最近の研究動向に関する興味深いご講演をいただきました。Invited Lectureでは、海外よりMin Wang先生(香港大)、若手研究者を代表して杉浦悠紀先生(産総研)、李誠鎬先生(産総研)、野々山貴行先生(北大)、岡崎琢也先生(明治大)よりご講演いただきました。

一般講演では厳正なる審査の結果、鈴木来氏(明治大)、Sukanto氏(北大)、円城涼美氏(明治大)、大沼恵里香氏(明治大)、Yanni Zhou氏(長岡技科大)がABC Awardに選出され、袋布大会長、相澤守先生(生体関連材料部会長・明治大)より表彰状と副賞が授与されました。

また、初日の夕刻には、富山県民会館に会場を移して着席・個人配膳形式の懇親会が開かれ、参加者相互の交流を深める貴重な機会が久々に設けられました。さらに、3日目にはテクニカルツアーが開催され、株式会社能作のご厚意による工場視察が行われました。

末筆ながら、参加者の皆様におかれましては多くのご出席をいただき誠にありがとうございました。加えて、スムーズな運営かつ随所に散りばめられた素敵なアイデアで盛り上げていただきました。袋布大会長はじめ富山高等専門学校の皆様に心より感謝申し上げます。

【執筆:ABC2022実行委員会 藪塚武史(京大)】



(左) Min Wang 先生の Invited Lecture
(右) 懇親会で用意された富山の銘酒



(左) 会場入口に設けられた立看板
(右) JR 富山駅改札内の横断幕



ABC Award 表彰式の様子